

か：かしこい子
 め：めあてをもってがんばる子
 や：やさしい子
 ま：まごころを貫き通す子

沿革史で振り返る亀山小学校の歴史と伝統

校長 中村 義浩

冬季休業期間に、校長室に掲示してあった沿革史を作り替えて、南校舎玄関に再設置しました。本校の児童・教職員だけでなく、保護者・地域の方など、より多くの方に本校の「歩み」を見ていただきたいと思っております。作業を行う中で、改めて亀山小学校の歴史と伝統を感じ、特に次のようなことに認識を新たにしましたところ。

- ・ 明治22年に現在地に移転し、創立記念日を10月22日とした。
- ・ 昭和26年に可愛小学校と分離し、分離前の児童数2202人から、分離後は819人になった(可愛小は本年度が創立70周年)。
- ・ 昭和49年に植村図書館が完成した(現在の図書館)。
- ・ 昭和59年には、PTAによるアスレチック施設が完成した(力の山、ターザンロープ、つり橋、高やぐら、壁登り、タイヤ跳び等)。
- ・ 平成2年に金管バンドを結成した(植村近氏基金より1000万寄贈)。

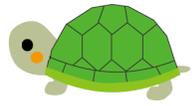
学校の誕生日に当たる創立記念日のことは、もっと子供たちに周知していきたいと思っております。また、当時のPTAの方々があつた「力の山」をはじめとするアスレチック施設を作られた際のご苦労はいかばかりだったかと思うことでした。そして、図書館建設や金管バンド結成に御尽力いただいた篤志家の方がおられたことにも、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

この沿革史の中に、令和2年度は次のことを付け加えます。

- ・ 購買部改修、図書館周り通路の補修を行う。
- ・ GIGAスクール構想に基づく通信システムが整備される。
- ・ 地域が育む「かごしまの教育」県民週間ポスター原画の部で学校賞を受賞する。

GIGAスクール構想に基づく通信システムが整備されたことで、児童一人一人が一台ずつタブレットを使った授業を、各教室で行うことが可能になっています。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月～5月に15日間臨時休業になったことは、沿革史に記載すべきか思案中です。学校の出来事には当てはまらないかもしれませんが、令和2年度を振り返る時、欠かせぬ大きな出来事ではありました。

ここ数年は、新学習指導要領の完全実施、教職員の働き方改革、教育方法の変化、そして新型コロナウイルス感染拡大など、大きな社会の変化、教育改革の中にあります。沿革史を作り替えながら、創立144年の歴史と伝統、そして、今まで亀山小学校に関わってこられた多くの方々の御尽力に思いを馳せ、残り2か月の令和2年度の教育活動を着実に実践していきたいと決意を新たにしましたところ。



キャリア教育 1月19日

キャリア教育とは、小学生のうちから「働き方」を考え、将来社会人・職業人として自立できるよう必要な能力や態度を育成する教育です。5年生では、「ふるさとコミュニケーション科」の中に「わたしの心の花を咲かせて」という単元を設定し、職業について学習を行いました。全9時間の単元の第2時として、川内北中の進路指導主任の湯田幸治先生を講師にお招きし中学生が抱えている将来の夢や職業観、そして卒業後の進路についてお話していただきました。本単元の最後には、自分が調べた職業についてまとめ、ポスターセッションを行いました。



薩摩川内元気塾 1月20日

「薩摩川内元気塾」は、将来、日本規模・世界規模の広い視野で物事を考え、自分を磨き、郷土薩摩川内市に大いなる元気を与えて貢献してくれる人材を育成するために、市教委の支援をいただいて年数回開催しています。全校児童を対象とした第1回目は、音楽家の小原裕貴氏と小原広恵氏を講師



に、「絵本と音楽で自分や友達の良さに気付こう」というテーマで、ピアノ演奏、読み聞かせをしていただきました。本格的なピアノ演奏と聞く人を引き付けるような読み聞かせに、子供たちも熱心に聞き入っていました。

租税教室 1月22日

毎年6年生を対象に実施している租税教室を、川内税務署の方を講師にお招きして実施しました。社会科学習の一環として税の働きや仕組みについて専門的な話を聞き、国民の義務の一つである納税についての理解を深める学習です。DVDを視聴した後、小学生一人に税金が月7万ほどかかること、税金は約50種類あることなどを聞き、最後に1億円の札束のレプリカを見せていただき、金額の大きさを実感し、消費税以外の税金へも理解が深まりました。



幼保小連絡会 1月22日

令和3年度に入学予定の園児が在籍する幼稚園・保育園の先生方をお招きし、幼保小連絡会を開催しました。新年度の新1年生は74人で3学級を予定しています。74人が、市内22の幼稚園・保育園・子供園から入学してきます。連絡会では、各幼稚園・保育園の先生方から、新1年生一人一人についてお聞きする一方、入学に当たっての準備等について小学校からお願いもいたしました。連絡会の前には授業参観もしていただき、先生方は10か月ぶりに見る成長した子供たちの姿に喜んでおられました。



鹿児島学習定着度調査1月13・14日

この調査は、新学習指導要領において身に付いていることが求められている基礎的・基本的な学習内容について、その定着度を調査する目的で行われます。鹿児島県独自の調査で、毎年5年生が今の時期に行います。実施教科は、国語・社会・算数・理科の4教科です。この調査結果に基づき、本校の学力の実態は、県平均と比較してどういう状況にあるかを認識し、指導法の検討や定着率の低い分野の補習を行います。本校では、目標正答率を70%と考えていましたが、本年度の自校採点の結果は次の通りとなりました。

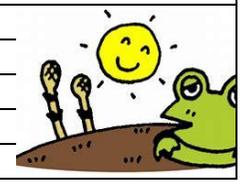
	国語	社会	算数	理科
正答率	67.5%	69.2%	61.8%	68.8%
基礎・基本	73.2%	77.2%	70.5%	71.2%
思考・表現	56.1%	57.4%	40.7%	65.7%

本年度、出題された問題をいくつか紹介します。

- 【国語】**
- ・ 漢字の書き(こうしゃ・にしがわ)、読み(気付く・重なる)
 - ・ 手紙の後付けで、「自分の名前」と「相手の名前」を書く位置
 - ・ 文章中に書かれている数字を、正しく表したグラフを選択
 - ・ 物語について話し合った内容についての選択、理由の文章表現
- 【社会】**
- ・ 日本の領土とまわりの国々について、島名を書き、位置を選択
 - ・ 気温と降水量について、文章説明に合った雨湿図を選択
 - ・ 漁港の水揚げ量と海流の図を見て、漁港数や海流名を選択
 - ・ 自動車を生産する工業について図に当てはまる説明文を選択
- 【算数】**
- ・ 小数の引き算・かけ算・わり算
 - ・ 直方体の展開図として正しい説明文の選択
 - ・ 時間・道のり・速さが書かれた例文への「理由」(文章表現)
 - ・ 色をぬってある部分の面積の求め方(公式の使い方)
- 【理科】**
- ・ めだかのめすとおすとを見分ける方法と卵の様子
 - ・ 水に溶けて見えなくなった食塩について調べる実験の結果
 - ・ 花粉の観察の様子と顕微鏡の正しい使い方の順序
 - ・ 天気の変化(人の影・気温のグラフ・雲の動き・方位)

3月の行事

2(火)	6年生を送る会
3(水)	授業参観・学級連絡会(上学年)・半成人式(4年)
4(木)	授業参観・学級連絡会(下学年・特別支援学級)
12(金)	卒業式予行練習
13(土)	土曜授業
19(金)	ノーメディアデー
23(火)	卒業式会場準備
24(水)	第74回卒業式
25(木)	修了式
26(金)	離任式



※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては変更もあります。

